

住民・学者・学生が一体となって取り組んだ発掘
月の輪古墳



指定区分	県指定史跡
読みかた	つきのわこふん
所在地	美咲町飯岡
指定年月日	昭和34年9月15日
解説	5世紀初め頃に築造された直径59m、高さ9mの大型円墳。中腹に幅約1メートルの段が設けられ、北側裾に造出がある。墳頂の平坦部は、直径17メートルで、割竹形木棺を粘土で厚く覆った埋葬施設が2基あった。斜面には角ばった石で葺石が葺かれ、墳頂周囲・段上・裾には円筒埴輪と朝顔形埴輪が並べられていた。発掘調査により多数の副葬品が出土した。
アクセス方法	
公開状況	自由
設備	
備考	埴輪・刀剣類などの出土品は「月の輪郷土資料館」に展示されている。【月の輪郷土資料館】無料(要予約) / 問:美咲町教育委員会柵原支所 0868-62-1125

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	月の輪古墳
よみかた	つきのわこふん
しょざいち (所在地)	美咲町飯岡
していたひ (指定した日)	昭和34年9月15日
せつめい	高さ9メートルの大きな円墳(えんふん)です。発掘調査(はくつちょうさ)にはこの飯岡地区(いいおかちく)の住民(じゅうみん)と学者(がくしゃ)、学生(がくせい)が一緒(いっしょ)になって行ったことで有名です。